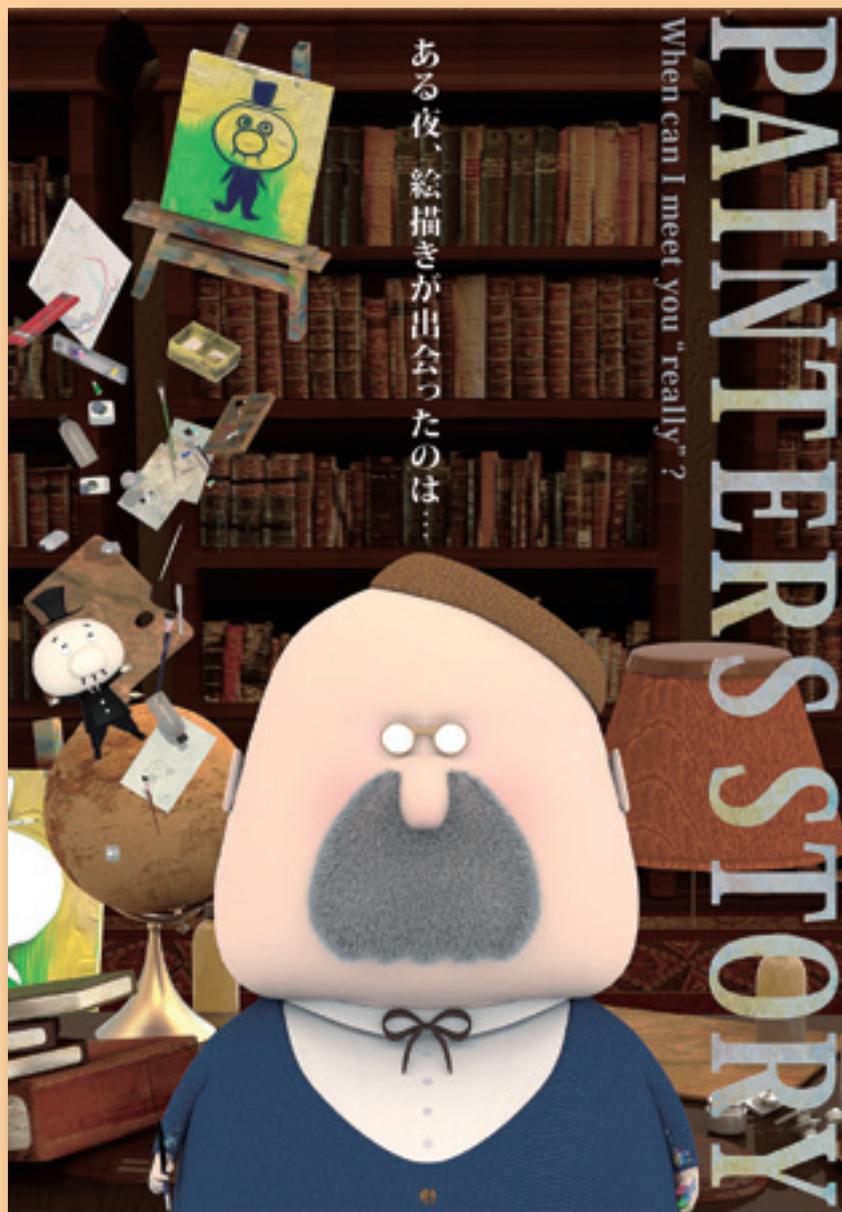


大分県立芸術文化短期大学附属図書館

## 図書館だより

No. 27  
2016.0ct.

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin



表紙作品『PAINTERS STORY』川端 紗丘（2014年美術科卒業）

キャラクターの造形もしっかり考えられており、すべて自作した背景の小物もキャラクターのイメージを引き立てています。

## Contents

- ① 先生おすすめの一冊
- ② 視聴覚室へ行こう！
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ Library Lovers' キャンペーン2016のお知らせ
- ⑥ 図書館のお宝紹介

# 先生おすすめの1冊



## 『ありえないデザイン』

梅原真 著 727/U64

美術科  
根之木 英二  
先生

今から5年前、本学の一般入試後期試験日の午後に東日本大震災が起きました。入試終了後に講師控室のテレビで見たゆっくりと濁流が街を呑み込んで行く映画のようなライブ映像は、今でもその衝撃とともに思い出されます。この日を境に私たちの考え方が大きく変わり、生きるということや人が助け合うということについて深く考えるようになりました。それ以降、推薦入試の面接で「デザインを学んで、将来は故郷の街の活性化に貢献したいと考えています。」という受験生も増えてきました。それまでは都会でデザインの仕事をしたいという中央志向だった若者が、地域や人と人との繋がりに価値を見いだすようになってきたのです。

この本で紹介されている梅原真さんは、地域のデザインに身を投じて全国的な活躍をされているデザイナーの第一人者です。彼がデザインするのは、モノやコトの考え方です。相対的なものさしに翻弄されず、「ジブンのものさし」で、自分がいる今、ここの絶対価値を見つけることにより、地方の一零細企業や漁業、農業が、大企業に対抗できるデザインを作り出せるということを証明しました。

これからデザインを学ぶ学生が、「デザイン」と「豊かな生活」や「モノの本質」について考えていく上で参考になる一冊です。

(ねのき えいじ/ビジュアルデザイン)



## 『うぐいすとバラ』

ニール・リショイ 著、久保敦彦 訳 762.348/G89

音楽科  
林 満理子  
先生

今回私のお勧めしたい本は、エディタ・グルベローヴァの半生を綴った「うぐいすとバラ」です。エディタ・グルベローヴァは世界的に評価の高いオペラ歌手、コロラトゥーラ・ソプラノです。しかも40年以上にわたって活躍している息の長い歌手と言えます。この本では歌手としての軌道に乗るまでにどれほどの試練があったのか、そしてその試練をどのように乗り越え国際的な活躍の場を掴んでいったのか臨場感たっぷり伝えられています。なかでも“テクニックと芸術性”について触れている箇所は、歌を歌う者にとって宝箱のようです。超一流の歌手がどのようなことを大切に、どんなテクニックを身に付けていったのかを垣間見ることができます。そしてどんなに一流であっても、いや一流だからこそ10年後の自分を見据えながら日々の積み重ねを大切にしなければならないのかがよく分かります。

グルベローヴァの演奏資料は大学の図書館にも所蔵されています。彼女と言えばモーツァルトの歌劇『魔笛』の夜の女王役というイメージが強いのですが、ベッリーニやドニゼッティのベルカント・オペラ、そしてR.シュトラウスの歌曲からも、彼女の持つ声の魅力、表現力の高さが伝わってきます。芸術の秋にふさわしいこの一冊に触れてみてはいかがでしょうか。

(はやし まりこ/声楽)





## 『思考実験—世界と哲学をつなぐ75問』

岡本裕一朗 著 116/O42

国際総合学科

山口 祥平

先生

現代は高度情報化社会によって、あらゆる要素が情報化されます。近年、技術進展が著しい人工知能（AI）は、これまで人間が担ってきた複雑な仕事をすべてデジタル情報に一元化し、コンピューターが担えるようにさせています。身近なところだと、車の運転は自動化され、もはや運転手どころか免許すら必要でなくなるかもしれません。AIの発展は止まるところを知らない。今後、人間に残される仕事とはいったい何でしょうか。

本書では、近代の考えや発想法が疑問視され通用しなくなった現代社会において、「思考実験」の重要性を述べています。思考実験とは、未だ存在しないものを仮定し、その答えを考えることです。過去の哲学者たちが挑んできた数々の思考実験を例に、課題に対する様々な思考方法を平易な語り口で紹介してくれます。学校では滅多に教わらない「考える」力をトレーニングするには、よい入門書となるでしょう。課題解決力はこれから重視されるスキルです。

そして「問い」を發し、新しい「答え」を導き出すことは何よりもクリエイティブな営為です。コンピューターが創造まで出来るようになるには、まだまだ時間が必要です。

(やまぐち しょうへい/文化経済学)



## 『ヘンな論文』

サンキュータツオ 著 049/Sa65

情報コミュニケーション学科

関口 洋美

先生

「論文」と聞くと“難しい!”と思われがちです。もちろん、論文はそれぞれの分野で形式がある程度決まっております、それにのっとって書いていくわけですから、どうしても文章が硬くなります。ですから、とっつきにくいと思われがちですが、この本では思わず興味をそえられる研究が紹介されています。おそらく、論文そのものを取り寄せて読めば、「やっぱり難しい」と思うかもしれませんが、研究そのものはとても面白いのです。つまり、“ヘンな論文”というよりは、“ヘンな研究”という本です。例えば、「しりとりはどこまで続く？」は、とてもおかしな研究に見えますが、その研究手法は素晴らしいのです。

「しりとり」は言葉をつなげていくゲームですから、文系の論文なのかな?と思いきや、しっかり理系の論文なのです。理系の論文の面白さの一つは、その研究手法にあります。しりとりの研究では、名詞の初めと終わりの言葉によって言葉群をつくり、それをどのように繋げていくと最も長いしりとりになるかをシミュレーションしていくわけですね。完全に理系の考え方です。

大学や短大の教員も研究論文を書く立場にありますが、この本に出てくるような研究ができれば、面白いだろうなあと感じました。きっとこの本で紹介されている研究のほうが、多くの人たちに貢献できる内容なのかもしれませんね。

(せきぐち ひろみ/教育心理学)



# 視聴覚室へ 行こう！

～美術科 荻野哉先生おすすめのディスク～

DVD 『繕い裁つ人』 (2015年)

DVD 『劇場版 神戸在住』 (2014年)



海を見下ろす急な坂の上にある「南洋裁店」一祖母が始めたこの洋裁店を継いだ職人気質の二代目店主、南市江と常連客たちとの日々を描いたコミック『繕い裁つ人』(全6巻)を読まれた方もいるのではないのでしょうか。池辺葵さん原作のこの作品を、『しあわせのパン』や『ぶどうのなみだ』などで知られる三島有紀子監督が、神戸の街を中心にオールロケを敢行して映画化したと知った時、阪神・淡路大震災以後のさまざまなことをあらためて振り返らずにはいられませんでした。

1995年1月17日から20年以上が経った現在、あの日のことを知らない人々には、お洒落なスポットが多く、スイーツの美味しい港町=神戸というイメージが定着しているように思われます。もっとも、大学に入るまでの時間の大半を神戸で過ごし、震災で肉親を亡くした私にとっては、そのようなイメージばかりが先行することに対する抵抗感が根強くあります。美術を学ぶ東京出身の女子大生と、車椅子のイラストレーターとの交流を軸にして描かれた『神戸在住』を観ると、ある出来事を知らない世代に語り継いでいくことの大切さと困難さを痛感します。

『繕い裁つ人』には、震災に直接関わるエピソードは出てきません。しかし、着る人の人生をも包みこむ、「世界で一着だけの、一生もの」を繕い裁つことにこだわる市江の姿は、震災から20年後の街の景観と匂いを伴うことで、この映画を観る者に忘れがたい印象を与えている気がします。デパートに勤務し、市江の服をブランド化しようとする藤井が服飾関係の本を何冊も抱えているのを見て、一冊の仕立ての本をじっくりと読む彼女が、「そんなにあったら、本当に好きなものが分からなくなるんじゃないかしら」という言葉を発する図書館でのシーンは、とりわけ美術科の学生にとって考えさせられる部分が大いでしょう。

原作のコミックは、対照的な作風ながらともに完成度の高いものです。木村紺さんの『神戸在住』(全10巻)は、強い情念を感じさせる硬派の文学的作品として仕上がっています。「大学で美術を学ぶとはどういうことか」というテーマにも向き合った稀有なコミックとして、羽海野チカさんの『ハチミツとクローバー』とともに一読をおすすめします。

(おぎの はじめ/美学)



## 視聴覚室利用ガイド

開室時間 12:30 ~ 19:00 (長期休業中は12:30 ~ 16:30)

★2階・視聴覚室ではオペラやクラシック、映画などの視聴覚資料が個別のブースで鑑賞できます。

★CDは貸出もしていますので、1階・カウンターにて手続きをしてください。

★DVD等一部資料は館内利用のみとなっています。

複数で鑑賞をしたい場合は2階・グループ学習室をご利用ください。

# 学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ、本年度第1回目の「学生選書ツアー」を6月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計110冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。

第2回学生選書ツアーは11月に開催します。



## 学生選書ツアーに参加して

美術科 1年 勝目 理可

私が選書ツアーに参加しようと思った理由は、自分の良いと思う本を他の人にも読んでもらえたら嬉しいなと思ったからです。選書ツアーでは、一人2万円分の予算が組まれています。そのため、自分が以前から好んで読んでいた作家さんの本も多く図書館に入れてもらうことができました。

また普段の生活では、書店でじっくりと本を眺めたり、選んだりする時間があまりないです。それだけに、今回のツアーで本一冊一冊のことについて思いを馳せ、心を踊らせる時間はとても貴重な時間でした。

やはり、学生である間はレポートや課題に追われ日々の生活だけで精一杯だという人も多いと思います。それが、当たり

前と言えそうです。でも、忙しさに埋もれて自分が本当にやりたかったことや夢を見失ってしまったり、毎日食べて寝るだけという風になってしまうなら、それは不幸だなと思います。そうならないためのアイテムの一つが本だと思います。人間関係が上手くいってないとき、自分のやるべきことを見失ってしまったとき、本はヒントをくれます。自分の心の中に埋もれてしまっている答えを探し出す手助けをしてくれるのです。そういった意味で、選書ツアーは本と触れる時間を増やしてくれる良いきっかけになりました。これからも読書の時間を大切にしていこうと思います。

## 参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 勝目 理可

### 『ノックの音が』

星新一 著 913.6/H92

この本の面白い所は全ての話が「ノック音がした」という一文から始まるということです。ノックの音が聞こえる場所は毎回違います。ある時は、高級マンションの中で、またある時は旅館の一室で、と言った具合に話ごとに舞台はコロコロ変わります。誰が、何のために、どんな人へ会いに来たのか想像を掻き立てられる一冊です。



### 『叱られる力』

阿川佐和子 著 361.454/A19

誰だって人から叱られるのは嫌だと思います。私もよく先生から叱られる度に自分なんか…とよく落ち込んでいました。そんな時にこの本に出会って、叱られる=駄目なことではないんだと気付かされました。叱られていることだけに目を向けるのではなく、そこにどんな意味があるのか、この本を読んで考えてみると新しい発見があります。



美術科 1年 江藤 彩

### 『リリーのすべて』

デイヴィッド・エバーショフ 著  
933.7/E13

舞台は1926年のデンマーク。画家として妻と切磋琢磨の毎日を暮らしていた夫エイナル。ある日彼は目覚めてしまう、もう一人の自分の中にある女性「リリー」に…監督トム・フーパー、主演エディ・レッドメインで映画化された感動の実話。世界初の性転換手術に挑んだ夫婦とその深い愛情を描く！



### 『iPhoneで誰でも映画ができる本』

榎原辰郎・角田亮 著  
778.4/Ka75

映画はもうカメラもパソコンも編集ソフトも必要ない!? いつかiPhoneで映画デビューという未来もおかしくない。そうiPhoneがあればね。企画・撮影など懇切丁寧な実用書としての面を持ちつつ、映画史のコラムまで付いているというボリューム感たっぷりの一冊!これさえ読めばあなたも映画監督に!



『まちアド  
地域の魅力をPRするデザイン』

PIE BOOKS 編  
674.3/P61



この本は、各都道府県、その地域の魅力をPRするアイデアやデザインがなされた広告を紹介しています。ユニークな作りで各都道府県の魅力がよく伝わってきます。もちろん大分県の欄には、CMで見かけるようなシンフォなどの面白い宣伝広告があるので是非興味のある方はご覧ください。

『Vectorworksデザインブック：戸國義直・鈴木敬子 著  
作例で学ぶ基礎と実践』

525.18/To41



この本は、Vectorworksの基本操作からインテリア空間のCGパースのような実践操作までの手順が、1つ1つのイメージに基づいて分かりやすく説明されています。Vectorworksの使い方につまずいた時など、この本を参考に使用してみてください。DVD付きです。

『世界から猫が消えたなら』

川村元気 著  
913.6/Ka95



「死ぬまでにしたいことは「10」もなかった。」という冒頭から始まる1週間の日々は僕の最後の日常であり、非日常でした。今年4月に佐藤健さんの主演により映画化された作品ですので、もう映画で見た人もいるかもしれませんが、川村元気さんの紡いだ言葉をあなたの目で見てみませんか。

『流れ星が消えないうちに』

橋本紘 著  
913.6/H38



「半年前から、玄関で寝ている」最愛の彼を飛行機の事故で亡くしてしまった奈緒子は、そのショックから玄関以外の場所では眠れなくなっていました。「もう新しい彼だっていて、幸せな筈なのに…」切ないけれど温かい、そんな優しい作品です。

『ROOKIE YEARBOOK ONE』 TAVI GEVINSON 編  
367.68/G39



どのページも可愛くてキラキラして、「ほかの人にどう思われるか気にしない方法」なんて教えてくれるファッション雑誌は今までなかった。そんなルーキー、すでに持ってる女の子も多いと思います。そして読み終わった子は、翻訳インターン生が立ち上げた日本版ルーキー、「Sister Magazine」も検索して読んでみてね。

『男の作法』

池波正太郎 著 914.6/134



シティボーイになりたいと、POPEYEを愛読している男子学生に読んでもらいたい一冊です。こんな一節があります。「てんぷら屋に行くときは腹をすかして行って、親の敵にでも会ったように揚げるそばからかぶりつくようにして食べなきゃ」つまりはインスタにアップするより先に、あつあつに食らいつづきの男の作法ということです。

『新ゴーマニズム宣言  
SPECIAL靖国論』

小林よしのり 著  
726.1/Ko12



近年、安倍政権による改憲などで、何かと話題になる先の大戦。実際に多くの若者たちが犠牲になりました。その後、日本は2度とこのような災禍を引き起こすまいとして今日まで歩んできました。しかし、戦場に散った兵士達に思いを馳せたことがありますか？靖国に参らないことが平和への道なのでしょうか？これは、歴史の転換点となる今日に読みたい本です。

『ギャル男でもわかる政治の話』 4人のギャル男たち 著  
おときた駿・310.4/O86



18歳選挙権が解禁され、つい先日、参議院選挙が行われました。皆さん、選挙に行きましたか(笑)。行った人も、「どのような基準で投票すればいいかわからない」「そもそも政治がわからない」と思いませんか？政治は私たちの生活に直接かかっています。一人ひとりが知識を持っていなければ民主主義は「愚民主主義」に陥ります。今こそ、政治の基礎知識を身につけませんか。

『JAPAN  
-Beautiful Landscapes Japan's Soul-』 日本の美研究会 編  
291.09/N71



これは、日本中の風景、祭、伝統文化、日本の心やことばについて、英語で説明されている写真集です。そのため、色鮮やかな日本の写真に癒されながら、英語の勉強もできます。日本に住んでいてよかった、ときっと思える一冊です。

『基本の78パターンで 伊藤太、Gary Scott Fine 著  
英会話フレーズ800』 837.8/189



この本は、日常会話で使われる英語表現を、一つ一つ、一度見たら忘れられないイラストとともに教えてくれます。使われている英語は易しいですが、芸短生にもぜひ見てほしいです。知っているフレーズでも、「こんな使い方があったのか!」という発見があるかもしれません。いつでもどこでも、少しずつでも読み進められる本です。

『屍者の帝国』 伊藤計劃・円城塔 著 913.6/189



私の高校時代で最も印象深い作品です。ジョン・ワトソンのオマージュ作品となっています。舞台は屍体蘇生技術が普及する19世紀。世界を巡り、魂とは何か、人間の意志とは何かを探るSFもの。その奥深い世界観や結末は、読んで自分自身で知ってくれと、切に思いました。

『英雄の書』

宮部みゆき 著 913.6/Mi71



この本は既に図書館にあるのですが、どうしてもお勧めしたい一冊です。宮部みゆきさんが執筆され、ブレイブストーリーを彷彿させます。何が面白いかって、解決できない問題があることを認めることで、人は前に進むことが出来るということを、重厚な物語で描かれているところです。

# こんな本が新しく入りました

2016年4月～9月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介します

学科	図書ラベル	書名	著者	学科	図書ラベル	書名	著者
美術科	019.02/Ma45	戦地の図書館：海を越えた一億四千万冊	モリー・G・マニング著	音楽科	375.76/Ky4	中学生の音楽	小原光一 ほか著
	159.4/Ma77	ひらめき教室：「弱者」のための仕事論	松井優征 ほか著		C/7657/2016	全日本吹奏楽コンクール課題曲参考演奏 [録音資料]	
	361.41/U14	本当の大人の作法：価値観再生道場	内田樹 ほか著		C/7783/1	リヒテル生誕100年記念エディション [録音資料]	スヴィヤトスラフ・リヒテル演奏
	520.4/Se58	人が集まる建築：環境×デザイン×こどもの研究	仙田満著		C/7785/1	A・リード&C・T・スミス [録音資料]	山本正治指揮
	674.3/P15	数字で伝える広告デザイン			B4.19/Ande/Z0	24 etudes: Op. 21 = 24の エチュード：作品21	Joachim Andersen
	757/D97	スペキュラティブ・デザイン：問題解決から、問題提起へ。	アンソニー・ダン著		B7.1/Mus/Sch	Pictures at an exhibition =展覧会の絵	Modeste Moussorgsky
	778(W)/Gu	グローリー：明日への行進 [映像資料]	エヴァ・デュヴァネイ監督		B7.454/Hor/No 1/3-3/3	Euphonium concerto =ユーフォニウム協奏曲	Joseph Horovitz
国際総合学科	292.14/Ko11	美しいソウル 韓モダンの旅	高恩淑著	情報コミュニケーション学科	141.5/L56	子どもは40000回質問する	イアン・レズリー著
	331/St5	科学の経済学：科学者の「生産性」を決めるものは何か	ポーラ・ステファン著		146.1/Ki58	人生を変える勇気： 踏み出せない時のアドラー心理学	岸見一郎著
	361.45/H32	異文化理解入門：グローバルな時代を生きるための	原沢伊都夫著		361.454/Sh23	人の2倍ほめる本： 頭のいい人悪い人のほめ言葉	渋谷昌三著
	588.55/Mi27	ワインの歴史	マルク・ミロン著		548.1/H72	いずれ老いていく僕たちを100年活躍 させるための先端VRガイド	廣瀬通孝著
	601.1/Ki46	まちで闘う方法論：自己成長なくして、地域再生なし	木下斉著		689.21/N37	インバウンド戦略：人口急減には 観光立国で立ち向かえ！	中村好明著
	760.3/I14	音楽のためのドイツ語事典	市川克明著		778(A)/Ri	リトルプリンス 星の王子さまと私 [映像資料]	マーク・オズボーン監督
	778(J)/Se	青天の霹靂 [映像資料]	劇団ひとり 脚本・監督		778(J)/Ak	悪童 [映像資料]	マギー演出
図書館	159/L23	内向型を強みにする	マーティ・O・レイニー著	図書館	675/Mi96	「売る」から、「売れる」へ。： 水野学のブランディングデザイン講義	水野学著
	289.1/N72	清掃はやさしさ：世界一清潔な空港を支える職人の生き様	新津春子著		766.1/J75	100語でたのしむオペラ	フィリップ・ジョルダン著
	331/A71	予想どおりに不合理	ダン・アリエリー著；熊谷淳子訳		804/Sa62	翻訳できない世界のことは	エラ・フランシス・サンダース著
	442.7/Ta84	初めてでもカンタン・キレイに撮れる！星と月の撮り方入門	田中達也著		913.6/O25	海の見える理髪店	荻原浩著

## 図書館職員注目の一冊

### 『18歳からの格差論』

井手英策 著  
361.8/I19

消費税引き上げ反対！でも本当にそれでいいのでしょうか。若者と高齢者の世代間対立！なぜこんな社会になったのでしょうか。本書は、格差が拡大する日本の現状を見据え、社会に分断を引き起こさないような制度設計の必要性と方向性について分かりやすく説いています。(みよし)



### 『10の奇妙な話』

ミック・ジャクソン 著  
933.7/J11

ひょんなきっかけで日常と異常の境界線を越えてしまった「奇妙な人たち」を描く10の短編集。風変わりで物哀しく、不気味で美しい、不思議な魅力に惹きつけられました。イラストも素敵で想像力を掻き立てられます。サラッと読むもよし、1話ずつじっくり味わうもよし！の一冊です。(にのみや)



### 『美術館の舞台裏』

高橋明也 著  
706.9/Ta33

美術館や博物館で働く学芸員にはさまざまな仕事をこなす必要があります。パリのオルセー美術館や国立西洋美術館にも在籍していた筆者が、海外のキュレーター・学芸員事情、盗難や贋作、実際の展覧会でのマネジメントなど、美術館とその舞台裏を紹介します。(おの)



### 『神様のカルテ』

夏川草介 著  
913.6/N58/1

奇跡なんて起こらない、ひたすら忙しいとある病院でのお話。少し変わった口調の主人公と、その周囲の人々が喜びを分かち合い、時に思い悩みながら、生きるということは、医者とは、医療とは、病院とは、一体どうあるべきなのか。そんな疑問を静かに強く投げかけてきます。映像化もされた、何度読んでも胸が締め付けられる作品です。(たかとう)



# Library Lovers' キャンペーン2016

## 読書の木を育てよう！

今年の企画イベントは、「**読書の木**」  
オススメの本を葉っぱに書いて枝に貼り、  
枯れ木をどんどん元気にしていきましょう！

<開催期間>

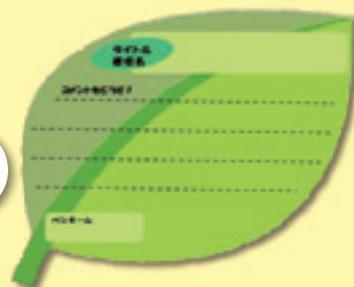
10月20日（木）  
～ 11月18日（金）  
（図書館ロビーにて）

### 読書の木企画 参加方法

図書館ロビーに“葉っぱ”のシートを置いてあります。  
好きな葉っぱのシートを選んで、

- ・あなたの名前（ペンネームも可）
- ・おすすめする本（音楽・映画でも可）
- ・コメント

葉っぱはこんな感じ！  
※他にも種類があります



をご自由にお書きください。  
書き終わった葉っぱのシートはロビーに設置している  
枯れ木へ貼り付けて、木を元気に育てていってください。

\*シートの枚数制限はありません。  
おすすめしたい葉っぱの枚数だけふるってご参加ください！



途中経過は当館の  
twitterなどでも  
お知らせいたします！



図書館の

## お宝紹介

(第2回) 『ポルトガル大使館寄贈文献』

図書館1階、雑誌コーナーと一般書コーナーの間にある謎の洋書棚。それが本学の誇る「ポルトガル大使館寄贈文献」です。国際文化学科(現国際総合学科)設立の際、大分とポルトガルの歴史的関係から、ポルトガル語の講義が開設され、その担当としてポルトガル人パウラ・サントス氏が客員講師(後に国際交流員)として赴任、その縁で1999年までにポルトガル大使館から寄贈された文献を取めたのがこのコレクションです。大航海時代関連を始め多くの貴重な文献が取められていますが、ほとんどがポルトガル語文献のため、手に取る人は少ない(泣)ですが、中には当時の世界地図やポルトガル船の設計図の復刻本など、絵を見て楽しめるものもあります。付属の目録片手に、かつてのポルトガルと大分の交流に思いをはせてみては？

(疇谷憲洋/文化交流史)



本や楽譜などの資料の  
購入リクエストはMyOPACの  
から受付しています！

ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない  
資料は購入を見合わせています。  
まずはリクエストを送ってみてください！



ほん太

10月は本活月間  
月に1冊本を読もう！

大分県立芸術文化短期大学附属図書館  
図書館だより No.27

発行日 2016年10月20日発行  
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館  
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号  
TEL・FAX (097) 545-4235  
<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>  
図書館キャラクターデザイン：若杉郁子